

報道発表資料の配付日時

5月28日(火) 10時00分

発表項目 (行事名)	第11回 安全登山シンポジウムの開催について														
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者													
		発表場所													
概要	<p>登山の正しい知識や有用な情報を提供し、遭難防止に対する意識向上を図ることを目的とした『第11回 安全登山シンポジウム』が次のとおり開催されます。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>1 日時 令和元年(2019年)5月30日(木) 18時00分～21時00分</p> <p>2 場所 エルプラザ 3階ホール(札幌市北区北8条西3丁目)</p> <p>3 主催 北海道山岳遭難防止対策協議会、北海道山岳連盟</p> <p>4 内容</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th></th> <th>講演名</th> <th>講演者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>北海道における山岳遭難の実態</td> <td>北海道警察 地域部地域企画課 指導官 西村和隆氏</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ココヘリの今 (山岳遭難予防の新しいツール)</td> <td>AUTHENTECJAPAN 代表取締役 久我一総氏</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>山岳メディアでの経験からみる 山の事故対策と環境保全</td> <td>筑波大学山岳科学学位 プログラム在籍 久保田賢次氏</td> </tr> </tbody> </table>				講演名	講演者	1	北海道における山岳遭難の実態	北海道警察 地域部地域企画課 指導官 西村和隆氏	2	ココヘリの今 (山岳遭難予防の新しいツール)	AUTHENTECJAPAN 代表取締役 久我一総氏	3	山岳メディアでの経験からみる 山の事故対策と環境保全	筑波大学山岳科学学位 プログラム在籍 久保田賢次氏
	講演名	講演者													
1	北海道における山岳遭難の実態	北海道警察 地域部地域企画課 指導官 西村和隆氏													
2	ココヘリの今 (山岳遭難予防の新しいツール)	AUTHENTECJAPAN 代表取締役 久我一総氏													
3	山岳メディアでの経験からみる 山の事故対策と環境保全	筑波大学山岳科学学位 プログラム在籍 久保田賢次氏													
参 考	<p>「北海道山岳遭難防止対策協議会」 道内における山岳遭難の防止や遭難者の捜索救助等の対策の推進を図ることを目的に、国、道、報道関係機関のほか、道内7つの地方山岳遭難防止対策協議会など約30の機関で構成(事務局:北海道山岳連盟)。 ※道総務部危機対策局は、協議会の総務部会に所属</p>														

報道(取材)に当たってのお願い	近年、山岳遭難(登山、山菜採り等)が増加傾向にあります。本格的な行楽シーズンを迎え、広く道民の皆様に注意喚起を図るため、積極的な報道をお願いします。
他のクラブとの関係	同時配付(場所) 同時レク

担当 (連絡先)	総務部危機対策局危機対策課(担当者:主幹 白石 奈美路) TEL ダイアルイン 011-204-5008(内線22-583)
-------------	---

令和元年（2019年）5月

報道機関各位

第11回 安全登山シンポジウムを開催します

～ 山岳遭難防止に向けて ～

北海道山岳遭難防止対策協議会では5月30日(木)札幌市エルプラザの3階大ホールで山岳遭難防止の啓発活動として安全登山シンポジウムを開きます。

平成29年度の北海道山岳遭難発生件数123件、遭難者数は156人と統計史上最多となっており、なかでもバックカントリースキーでの遭難件数が急増しています。

遭難件数の増加により、遭難救助活動に関わる救助隊員の安全や経費などに道民の関心事として取り上げられるようになって参りました。この活動は平成21年から始まり魅力的なアウトドア資源を有す北海道の安全登山啓発活動として続いています。

講演Ⅰに北海道警察地域企画課指導官西村和隆氏から遭難事故が多発する6月～8月の発生状況、遭難場所、バックカントリースキー遭難の特性、また登山計画書の必要性について講演を行います。

講演Ⅱには久我一総氏の山岳遭難予防の新しいツール「ココヘリ」の誕生秘話／現状と今後の展望についてです。

講演Ⅲには久保田賢次氏の登山雑誌や白書の編集に携わってきた経験から、「どうすれば事故を減らせるのだろうか」を、登山道整備や山の環境保全の側面も含めて話します。

場所と日時は、以下のとおりです。

・場 所	札幌エルプラザ3階ホール 札幌市北区北8条西3丁目(電話 011-728-1222)
・日 時	令和元年(2019年)5月30日 午後6時～9時
※入 場 無 料	

【問い合わせ先】

北海道遭難防止対策協議会・北海道山岳連盟

札幌市東区北9条東12丁目4-7 携帯 090-3113-1395

担当者 アケタ ツウ セイ 明田 通世 E-mail mts_paradeln.aket@gray.plala.or.jp



第11回

安全登山シンポジウム

日時 2019年5月30日(木) 18時

会場 札幌エルプラザ3階ホール(札幌駅北口)

本シンポジウムでは「山の日」制定を期に、そして、本格的な夏山シーズンを前に、一般登山者に対して正しい知識と有用な情報を提供し、遭難防止に対する意識の向上と啓発をはかることを目的とします。

開場17時、入場者数320名(入場先着順:無料) 協賛企業ブース展示16時30分

講演1 北海道における山岳遭難の実態

滑落

北海道警察地域部地域企画課指導官 西村和隆氏 荒天

講演2 ココへの今 (山岳遭難予防の新しいツール)

AUTHENTEC JAPAN 代表取締役 久我一総氏

講演3 山岳メテオでの経験からみる山の事故対策と環境保全

筑波大学山岳科学学位プログラム在籍 久保田賢次氏

主催 北海道山岳遭難防止対策協議会 北海道山岳連盟

協力 北海道 北海道警察

後援(予定) 北海道スポーツ協会 札幌市 札幌市教育委員会

NHK札幌放送局報道部 HBC STV HTB UHB TVh

北海道新聞 朝日新聞北海道支社 読売新聞北海道支社 毎日新聞北海道支社

協賛(予定) (株)秀岳荘 ICI石井スポーツ札幌店 (株)モンベル (株)ゴールドウイン

りんゆう観光 (株)ノアド&アルパイン (株)ノアド

フェニックスストア札幌 (株)大塚製薬工場 カシオ計算機(株) 好日山荘

(株)ラムードスポーツグループジャパン AUTHENTEC JAPAN

道迷い

転落

写真は、山岳遭難の4要因の場面を想定したもの